



## 2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年1月27日

上場会社名 インフォコム株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 4348 URL <https://www.infocom.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹原 教博  
 問合せ先責任者 (役職名) 広報・IR室長 (氏名) 田中 新也 (TEL) 03-6866-3160  
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 2022年3月期第3四半期決算補足説明資料  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2022年3月期第3四半期の連結業績(2021年4月1日~2021年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	47,481	△2.9	7,073	△0.5	7,176	△0.5	4,884	△0.8
2021年3月期第3四半期	48,914	18.7	7,110	22.0	7,213	23.5	4,925	23.9

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 3,926百万円(△37.5%) 2021年3月期第3四半期 6,282百万円(64.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	89.17	88.78
2021年3月期第3四半期	89.96	89.56

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	54,719	42,810	77.7
2021年3月期	56,435	41,839	73.5

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 42,511百万円 2021年3月期 41,503百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	10.00	—	27.00	37.00
2022年3月期	—	13.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	37.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有  
 2022年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 27円00銭 記念配当 10円00銭  
 配当予想の修正については、本日(2022年1月27日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

## 3. 2022年3月期の連結業績予想(2021年4月1日~2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	66,000	△3.0	10,500	△2.9	10,500	△4.0	7,000	11.5	127.80

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有  
 連結業績予想の修正については、本日(2022年1月27日)公表しました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) 一、除外 一社(社名) 一
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年3月期3Q	57,600,000株	2021年3月期	57,600,000株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	2,823,967株	2021年3月期	2,829,423株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2022年3月期3Q	54,773,047株	2021年3月期3Q	54,756,257株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

当四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページに掲載します。

○添付資料の目次

四半期連結財務諸表及び主な注記	2
（1）四半期連結貸借対照表	2
（2）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	3
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	3
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	4
（3）四半期連結キャッシュ・フロー計算書	5
（4）四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(会計方針の変更)	6
(セグメント情報等)	7

## 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	29,956	29,945
受取手形及び売掛金	12,502	—
受取手形、売掛金及び契約資産	—	9,507
棚卸資産	167	306
その他	1,345	2,210
貸倒引当金	△7	△5
流動資産合計	43,964	41,965
固定資産		
有形固定資産	1,054	1,346
無形固定資産		
ソフトウェア	1,592	1,746
のれん	—	715
その他	47	34
無形固定資産合計	1,639	2,496
投資その他の資産		
投資その他の資産	9,974	9,125
貸倒引当金	△198	△214
投資その他の資産合計	9,776	8,911
固定資産合計	12,471	12,754
資産合計	56,435	54,719
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	4,975	4,145
未払法人税等	2,729	553
賞与引当金	1,402	527
その他の引当金	—	23
その他	5,133	6,170
流動負債合計	14,241	11,419
固定負債		
退職給付に係る負債	16	44
その他の引当金	—	52
その他	338	390
固定負債合計	355	488
負債合計	14,596	11,908
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,590	1,590
資本剰余金	1,556	1,560
利益剰余金	37,479	39,373
自己株式	△795	△794
株主資本合計	39,829	41,729
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,827	847
為替換算調整勘定	△153	△65
その他の包括利益累計額合計	1,673	782
新株予約権	228	224
非支配株主持分	107	74
純資産合計	41,839	42,810
負債純資産合計	56,435	54,719

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	48,914	47,481
売上原価	24,959	24,570
売上総利益	23,955	22,911
販売費及び一般管理費	16,844	15,838
営業利益	7,110	7,073
営業外収益		
受取利息及び配当金	101	90
持分法による投資利益	7	11
為替差益	0	—
パートナーシップ利益	—	3
その他	18	3
営業外収益合計	127	109
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	—	2
パートナーシップ損失	23	—
株式報酬費用消滅損	—	3
その他	0	0
営業外費用合計	24	6
経常利益	7,213	7,176
特別利益		
固定資産売却益	—	0
特別利益合計	—	0
特別損失		
固定資産除却損	1	10
投資有価証券評価損	2	44
関係会社株式売却損	—	46
貸倒損失	1	—
その他	0	—
特別損失合計	5	101
税金等調整前四半期純利益	7,208	7,075
法人税等	2,324	2,258
四半期純利益	4,883	4,817
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△42	△66
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,925	4,884

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	4,883	4,817
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,488	△979
繰延ヘッジ損益	△0	—
為替換算調整勘定	△89	88
その他の包括利益合計	1,398	△891
四半期包括利益	6,282	3,926
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,331	3,992
非支配株主に係る四半期包括利益	△49	△66

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	7,208	7,075
減価償却費	761	1,059
株式報酬費用	68	27
のれん償却額	153	—
引当金の増減額 (△は減少)	△975	△875
受取利息及び受取配当金	△101	△90
支払利息	0	0
投資有価証券評価損益 (△は益)	2	44
関係会社株式売却損益 (△は益)	—	46
売上債権及び契約資産の増減額 (△は増加)	2,247	3,168
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△166	△154
仕入債務の増減額 (△は減少)	64	△801
その他	289	△510
小計	9,552	8,988
利息及び配当金の受取額	103	93
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△2,365	△4,639
営業活動によるキャッシュ・フロー	7,289	4,442
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△107	△702
無形固定資産の取得による支出	△527	△679
投資有価証券の取得による支出	△179	△430
関係会社株式の売却による収入	—	150
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△603
その他	17	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△797	△2,263
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
リース債務の返済による支出	△41	△35
配当金の支払額	△1,697	△2,190
その他	△5	26
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,744	△2,199
現金及び現金同等物に係る換算差額	△27	10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	4,719	△10
現金及び現金同等物の期首残高	23,491	29,956
現金及び現金同等物の四半期末残高	28,211	29,945

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財またはサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財またはサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしました。

収益認識会計基準等の適用による主な変更点は以下のとおりです。

①電子コミック購読の際の購入ポイントに係る収益認識

従来、ポイント購入時に全額を収益として認識していましたが、ポイントに係る収益はポイント使用時または失効時に認識する方法に変更しました。

②ソフトウェアの請負開発契約等に係る収益認識

従来、ソフトウェアの請負開発契約等に関して、進捗部分について成果の確実性が認められる契約については工事進行基準を、その他の契約については工事完成基準を適用していましたが、少額もしくはごく短期の契約を除き、履行義務を充足するにつれて、一定の期間にわたり収益を認識する方法に変更しました。

また、履行義務の充足に係る進捗率の見積りの方法は、履行義務の結果を合理的に測定できる場合は、見積り総原価に対する実際発生割合(インプット法)で算出しています。履行義務の結果を合理的に測定できない場合は、発生した実際原価の範囲でのみ収益を認識し、少額もしくはごく短期の契約については、完全に履行義務を充足した時点で収益を認識しています。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しています。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高が767百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益がそれぞれ428百万円増加しています。また、利益剰余金の当期首残高は798百万円減少しています。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することとしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っていません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしました。なお、この変更による連結財務諸表への影響はありません。



(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ネットビジネス	I Tサービス			
売上高					
外部顧客への売上高	33,102	15,811	48,914	—	48,914
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	129	129	△129	—
計	33,102	15,941	49,044	△129	48,914
セグメント利益	5,815	1,287	7,103	7	7,110

(注) 1. セグメント利益の調整額7百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	ネットビジネス	I Tサービス			
売上高					
外部顧客への売上高	30,867	16,614	47,481	—	47,481
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	148	148	△148	—
計	30,868	16,762	47,630	△148	47,481
セグメント利益	6,091	975	7,066	6	7,073

(注) 1. セグメント利益の調整額6百万円は、セグメント間取引消去及び全社費用です。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っています。